

Matsusaka Pro

Lights, Camera, Future!

第3回 小津安二郎青春のまち
松阪みらいプロジェクト

映像制作 ワークショップ

今年はドキュメンタリーに挑戦!!

テーマは「カメラで **なぜ** を解き明かす」

“なぜ” — あの店の〇〇は特別においしいんだろう?
— 松阪の駅前に大きな鈴が置いてあるの?

ワークショップの流れ
開催日

12月

13日(土) 講座・取材・撮影

14日(日) 取材・撮影

20日(土) 編集・上映会

普段は深く考えなかったり、誰かに聞くのをためらったり、調べても答えが見つからなかったり……
カメラがあれば——

聞いてみたかった人に声をかける勇気が湧くかもしれない、これまで入れなかった場所に入れるかもしれない。
知らなかった世界を発見できるかもしれない、気づかなかった自分の気持ちに出会えるかもしれない。
カメラは、あなたの「なぜ」をともに探る心強い相棒です。

現役の映像ディレクターや作家も参加!
クリエイティブの現場を体験できます。

～小津安二郎青春のまち～ 松阪みらいプロジェクト

第3回 映像制作ワークショップ参加者募集！

令和5年、松阪で青春時代を過ごした小津安二郎監督が生誕120年を迎えました。そのメモリアルイヤーを契機として、小津監督が映画への情熱を育んだ松阪において、映画のみならず映像や演劇、物語制作などに広く関心のある若者が集う場を設け、今後の映像文化の担い手を発掘・育成するため、～小津安二郎青春のまち～松阪みらいプロジェクトを発足しました。昨年は第2回として「こんなはずじゃなかった……」をテーマに3日間の映像制作ワークショップを開催。今年はまち中で感じる“なぜ”をグループで取材して、ドキュメンタリーを制作します。

【プロジェクトメンバー】中瀬皓太（合同会社馬鹿鳴都）、齋藤直樹（三重県教育委員会事務局）、橋本健太郎（県立松阪高等学校教諭 放送部顧問）、川田博基（私立三重高等学校教諭 放送部顧問）、藤井宏美（松竹株式会社 映像本部メディア事業部）、松阪ケーブルテレビ・ステーション株式会社、松阪市産業文化部文化課



小津安二郎 ©松竹

講師

可香谷 慧

株式会社ドキュメンタリージャパン
ディレクター

応募方法

申込フォームにて「お名前・学校名・学年・電話番号・メールアドレス」をご入力ください。
受付期間 **10/14（火）～12/5（金）**

ゲスト

石原 壮一郎

作家・コラムニスト
松阪市ブランド大使

対象

映像や物語をつくることに
興味がある中高生



◀（申込）松阪市役所産業文化部
文化課 文化振興係

[申込フォーム]

募集人数

25人程度（先着順）
※5人程度のグループワーク

日時・会場

令和7年12月

13日（土）14日（日）会場：松阪市役所
20日（土）会場：松阪市産業振興センター

■9:00～17:00（開場8:30～）

[内容] 13日 講座・取材・撮影

14日 取材・撮影

20日 編集・上映会（15:00～）

※時間は進行内容によって前後します。

※上映会は保護者・一般の観覧が可能です。

※集合場所等の詳細については、参加者決定後に個別に連絡します。

事前準備

①ワークシート（必須）

「カメラで？（なぜ）を解き明かす！」の作成



◀ ワークシートをホームページからダウンロードし、各自作成してください。
ドキュメンタリーの材料になります。

②ワークショップをより楽しむため小津安二郎監督の映画や監督に関するドキュメンタリーを観る。

③当日の持ち物 筆記用具、宿題ワークシート、昼食（外食も可）

お問合せ

松阪市産業文化部文化課

0598-53-4397 【受付時間 9:00～16:30】

主催：～小津安二郎青春のまち～松阪みらいプロジェクト 共催：松阪市

協力：松竹株式会社、松阪ケーブルテレビ・ステーション株式会社